

# ぽっかぽか



vol.86

令和元年 11月 1日発行

一般社団法人  
鶴岡地区医師会

介護老人保健施設

みずばしょう



8月29日(木)隣接する貴船保育園の年長さん17名が元気な踊りと歌を披露してくれました。手作りの首飾りをかけていただいととても嬉しそうです。

## デイケア敬老会



デイケアでは9月16日～21日の間、敬老会を開催しました。

今年は、オリンピックの応援ソングにもなっている、「パプリカ」に合わせて、職員が踊りを披露しました。

職員が一生懸命練習した甲斐もあり利用者さんにも大変喜んで頂けました。



## 長寿の祝い

### おめでとうございます

9月27日当施設で内閣総理大臣、県知事より長寿のお祝いの賀詞贈呈式がありました。満百歳の方が2名、白寿の方4名でした。これからも健康に留意してお過ごしてください。



## 看護学生実習

8月26日から10月11日にかけて鶴岡准看護学院の学生さんが施設実習にきました。

2年生の21名が6グループに分かれて、施設での看護業務を行い看護師としての学びを深めました。



### 実習生の感想

2年 阿部 望美さん

私はみずばしょうでの実習で、胃瘻の方への経管栄養の実際やデイケアでのリハビリテーションを体験させていただきました。職員の方々も暖かい雰囲気でご接して下さり、学校の学習では体験できない臨床の学習をさせていただきました。今回の実習で学ばせていただいたことを今後の実習や学習に活かしていきたいと思っております。

ABユニット

# 芋煮会シーズン



ABユニットでは9月11日に芋煮会をしました。利用者さんからは「美味しい美味しい。」「もっと食べたい。」と笑顔がみられていました。皆さん秋の味覚に満足されていました。



# ゴミ拾い

地域奉仕活動



青空が広がる 10月6日(日) 日ごろお世話になっている地域のゴミ拾いを行いました。当施設がある羽黒町後田の主要道路沿いを 30 分ほどの作業、民家の無い幹線道路には空き缶や弁当箱など沢山のゴミがありました。作業が終わった後は、松ヶ岡産の芋煮を食べ皆さん晴れやかな気持ちになりました。



# 100均ツアー

EF ユニットでは、外出レクで 100 円ショップに買い物に行きました。バラエティーに富んだ店内に思わず笑みがこぼれる方、真剣に商品を吟味する方。

利用者さんの生き生きとした姿を見ることができ、企画してよかった！とスタッフも嬉しくなりました。





## リハビリ紹介



利用者さんの趣味である編み物でアクリルたわしを作ってもらっています。楽しみながら手と頭の体操になるよう余暇活動として提供しています。今まで6つ程作成し、うち2つは食器洗いや掃除に活用させていただきました。



## 職員紹介

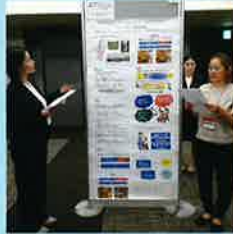


療養課 入所係  
主任介護福祉士  
**三浦 司**

湯田川病院リハビリテーション病院から6年振りにみずばしよで勤務することとなりました。50歳を過ぎて物覚えも悪くなってきましたが、持ち前の明るさ(?)で、出戻りの新人として頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

## 第18回東北地区介護老人保健施設大会in福島

8月31日(土)ザ・セレクトン福島を会場に約500名が参加し盛んに開催されました。研究発表は2つのブースに分かれ計44の演題発表が行われ、当施設では「満足度調査をサービスの質向上につなげる取り組み～はじめての利用者体験」と題し発表しました。多くの参加者が興味深く聞き入る様子が見られました。今後も様々な研究を通し質の高いサービスへ繋げていきたいと感じました。



## BLS勉強会



施設では毎年BLS(一次救命処置)の勉強会を行っています。

突然人が倒れたら、呼吸をしていない、心臓が止まっている...そんな時、一刻も早く心肺蘇生が必要です。

羽黒分署の指導の下、心肺蘇生法とAEDの使用方法を学びました。



## ゆぽか健康講座



9月26日(木)「ゆぽか健康講座」に管理医師の矢野梨加先生とデイケア課の佐藤和佳主任が出席し、矢野先生から認知症についての講演を佐藤主任からは脳トレ体操を行いました。参加していただいた約50名の皆様は認知症の予防の大切さと知識を深めることができたのではないのでしょうか。



朝晩めつきり寒い季節となりました。今月号は食欲の秋、勉強の秋、長寿を敬う敬老会などの内容となっております。楽しんでいただけたでしょうか? 段々インフルエンザの発生も報告されており、うがい手洗いを励行し体調管理に努めていきましょう!!

## 編集後記



これからのみずばしよは楽しい行事が目白押しです。紅葉狩りや運動会、新そば祭りにクリスマス会などなど。ところで皆さんは庄内の秋を代表する果物の一つである庄内柿は召し上がりましたか。在来種の「平核無(ひらたねなし)」のほかには早生種の「石橋早生、刀根早生」などの種類があります。他の果物と違い、もぎたてを頬張るわけにはいきませんが、脱渋後の甘くヘルシーでみずみずしい食感が何とも言えないですね。おいしいだけでなく、ビタミンAとCを多く含んでいることから栄養にも美容にも良いと言われ、この地方では「柿が赤くなると医者が青くなる」と言われてきました。庄内神社の参道脇に庄内柿の祖と称される酒井調良翁の胸像があります。翁は偶然見つけた種のない柿に着目して、長年かけて栽培・普及に力を注ぎ現在の基礎を築きました。読書の秋、戊辰戦争で名を馳せた兄の酒井玄蕃(さかいげんば)、弟で書家の黒崎研堂(くろさきけんどう)の庄内藩士である酒井三兄弟の歴史を紐解くのも楽しいかも知れません。私たちが住むビオトープは職員さんの手で泥上げや除草をしていただき、越冬準備も万全です。